

《聖書の言葉》 ヨハネによる福音書 8章 12節

わたしは世の光である。

わたしに従う者は暗闇の中を歩かず、

命の光を持つ。

クリスマスの前に、イルミネーションによる光が
街のあちこちであらわれています。

イエスの誕生を祝いながら、

私たち一人一人が神からの光を

他の人々に伝えていくことができますように。

保護者の皆様には、いつも本校のカトリック教育に対しまして、ご理解・ご協力くださり、ありがとうございます。

2学期のカトリック通信「一粒の麦」では、2学期に取り組んだカトリック行事やボランティア活動の内容と生徒の感想、そして冬期休暇中のクリスマス行事とボランティア活動などをまとめております。どうぞお読みください。

また、日本のカトリック学校の保護者に向けて年3回発行されている「よき家庭」も配布いたしております。こちらもどうぞお読みください。



2学期の活動から

○10月11日：高Ⅱボランティア学習

☆車いすユーザー徳政宏一先生による講演会と車いす介助実習

HRを2時間使い、2人組で校内を車いすで移動しました。実習中は、広島市西区のボランティアサークル「男のつどい」の皆さんに色々とおアドバイスをいただきました。

初めて車いすに乗った生徒たちは、「目線が違う」、「わずかな段差でも振動が大きくて驚いた」、「声をかけられないで、突如後ろにさがられると怖かった」など様々な気づきがあったようでした。

また、徳政先生から「生きること、諦めないこと」をテーマにお話を伺い、車いす介助の実習体験と重ね合わせながら、理解を深めることができました。

○10月29日：中1ボランティア学習

☆太田川河川敷清掃

登下校や日々の学校生活でお世話になっている地域の方々へ感謝の気持ちを込めて、清掃活動に取り組みました。遠目に見るときれいな河川敷ですが、意外とゴミの量が多いことに驚きながら、皆で協力してゴミを拾いました。この活動を通して、感謝の心を持って奉仕活動に取り組むことを学びました。



○11月1日：学園慰霊祭（ミサ担当：高Ⅱ）

新講堂での初めての学園慰霊祭ミサは、アンリ神父様（カトリック廿日市教会）により厳かに式が執り行われ、学園関係物故者の方々と、この一年間に世界の各地で起こった自然災害や戦争、紛争の犠牲となった人々のために祈りを捧げました。今年は、私たちが生活している地域でもたくさんの尊い命が失われたこともあり、命の大切さを感じながら、ミサにあずかりました。そして亡くなられた方々に思いを馳せることを通して、「死」ですべてが終わるのではないことを知り、私たちの「命」について改めて見つめる機会となりました。



慰霊祭ミサに参列して

- 共同祈願の中で「今年は色々なところで災害が起き、多くの方の尊い人生が途絶えてしまった」という言葉が印象に残りました。思っているよりも死は近くにあり、いつ死を迎えてしまうかわからないからこそ、当たり前前に「生きる」毎日を大切に、亡くなった身近な故人を忘れることなく共に心の中で「生きる」ということをしていきたいと思いました。
- 「大切な人を亡くすことは悲しいことだけれど、それは新しい永遠の命への門である」という神父さんの言葉が心に残りました。つらい時こそ、視点を変えて、新たに前に向かっていける見方ができるようになりたいと思いました。
- 知っている人を亡くすのはとても辛いことだけれど、今日のミサのように周りのみんなが一緒になってその人のために祈ることで、辛い思いをしている人を慰められると思いました。
- ミサを通して、私達が今生きていることは、当たり前ではなく、とても有難いことなのだとわかりました。だから、私達は生きていることの喜びをしっかりと感じながら、生きていかなければと思いました。

○11月1日：森重昭先生・佳代子先生講演会

学園慰霊祭後に、40年以上に渡り広島で被爆したアメリカ兵12名について調査し、原爆死没者名簿への登録を実現された森重昭先生、佳代子先生（本校6期生）ご夫妻をお招きし、お話を伺う機会を持ちました。お話に先立って、先生の取り組みをドキュメンタリーにした映画「Paper Lanterns」を視聴しました。

講演会は、高校審議委員の質問に対して答えていただく、質疑応答の形で行われました。生徒の「なぜ、敵であったアメリカ兵について調査しようと思われたのか」、「私達、中学生・高校生にどのようなことを考え、何をしてほしいと思われるか」といった問いに、丁寧に思いを込めて話し下さる姿から、長い年月をかけて真摯に被爆米兵の調査に取り組んで来られたことと平和への強い思いが伝わってきました。

また、佳代子先生からは、ご自身の体験に基づき「心を清くし 愛の人であれ」という校訓が社会で生きていく上でどれほど大切な土台になっているかとのお話を伺いました。ご夫妻の講演を通して、改めて平和を構築していくための強い思いと、本校の創立者聖ジュリーの精神と校訓に目を留める機会をいただきました。



○ボランティア体験学習：

☆7月～11月（中3） ☆10月～2月予定（中2）

昨年度から、各自が興味のあるボランティアを選び、より積極的に活動に参加できるよう取り組んでいます。

今年度、中学2、3年生が共通して取り組んでいる活動は、「献血推進呼びかけ」、「デイサービスへの慰問」と「JR 西広島駅構内清掃」です。また、各学年の取り組みとして、中学3年生は「地域清掃」、「作業所授産施設訪問」、「視覚障がい者支援団体のサポート」と「街頭募金」、中学2年生は「保育所訪問」、「国際フェスタ協力」、「教会バザーの手伝い」、「あしなが学生募金」、「要約筆記体験」と多岐にわたっています。

事前準備や活動の場面で戸惑うこともあります。実際に足を運び、様々な方との出会いを通して、想像していた以上のことを体験し、学ばせていただいています。この経験を学校生活の場でも活かしていけるよう、学年の HR やふり返りで今後取り組む予定です。

○中・高 NDA (Notre Dame Action) 委員会の活動

あしなが学生募金への参加、自然災害の被災者支援物資の募集、口と手で描く芸術家協会への協力、チャイルドファンドジャパン募金、ベルマーク・使用済み切手・ペットボトルキャップ・プルタブ集めなど身近なボランティアを積極的に行いました。

なお、三学期はじめには、インクカートリッジ（Canon、EPSON の純正）や書き損じはがきを集める予定です。ご協力をよろしくお願いいたします。

○12月：クリスマス行事 テーマ：「Dear～私からあなたへ～」

★12月2日～12月24日 待降節（アドベント）

学校ではクリスマス行事に合わせて、本来の待降節よりも一足早く11月26日から以下のようなクリスマス準備を始めました。

《全 校》

☆クリスマスソングの放送（朝と放課後）

☆クリスマスの聖書朗読とアドベントカレンダーめぐり（終礼時）

☆姉妹校やお世話になっている方々へのクリスマスカード送付

☆クリスマスツリーやクリブ（馬小屋）、アドベントカレンダー

（カトリック研究会作成）の設置と各教室や廊下などの装飾

☆募金活動及び文具、衣類集め

ノートルダム修道女会の施設があるジンバブエへ寄付

*この活動は、年2回（5月・12月）行われています。

☆クリスマスミサ（担当：高I）

《学 年》

☆中1：クリスマスの祈りの集い（カトリック観音町教会）と広島夜回りの会へ物資援助

☆中1、中2：クリスマス飾りの作成と装飾

☆中3：クリスマスタブロー「Dear 大切なあなたへ」

☆高III：学年合唱 「ハレルヤコーラス」



《校内のクリスマス準備の様子》

冬休み中の活動

○12月22日(土) 14時より : カトリックフェア「クリスマスの集い 2018」 会場 エリザベト音楽大学セシリアホール

今年も、広島市内にあるカトリック学校(エリザベト音楽大学・広島学院・ノートルダム清心)がそろい、「ともに愛を届けよう」のテーマのもと、主の降誕を祝う集いを企画しています。この企画は、チャリティーイベントでもあります。当日会場では西日本豪雨災害の支援のための募金呼びかけを行い、カリタスジャパンに寄付する予定になっています。

フェアでは、生徒、学生の舞台発表の部と三校の成り立ちや各学校が大切にしているカトリックの精神を紹介する部があり、盛りだくさんの内容となっております。

本校からは、中学音楽部と高校合唱部の演奏、中・高カトリック研究会によるクリスマスタブローの上演が予定されています。

是非、ご家族でエリザベト音楽大学セシリアホールまでお出かけください。



○12月24日(月) 16時より: クリスマスマサ 会場 クビリーホール講堂

毎年、クリスマスイブの夕方にクリスマスミサを捧げ、生徒、保護者、同窓生、教職員、そして近隣の方と一緒にイエスご降誕のお祝いをしています。ミサ後には生徒手作りのケーキとクッキー、紅茶を召し上がっていただきながらの楽しい茶話会も準備しています。ミッションスクールならではのクリスマスのお祝いにご家族でお越しください。お待ちしております。

○12月25日(火): 八幡学園クリスマス会

今年も高1のNDA委員が広島学院の奉仕委員と合同でクリスマス会を企画しています。当日は約40名の子どもたちが八幡学園から参加することになっています。子どもたちが楽しめる会となるよう、準備に励んでいます。

《カトリック教会の豆知識》 クリスマス編

★クリスマスとは

クリスマスの言葉の由来は Christ Mass=キリストのミサ。「キリスト」は救い主の意味であり、イエスのことです。また「ミサ」はイエスと弟子たちとの最後の晩餐で行われたことを祝う集会のことです。

★クリスマスケーキあれこれ

・クリスマスプディング

イギリスの伝統的なクリスマスケーキ。由来はケルト神話までさかのぼるともいわれ、果物が入ったお粥が起源ともいわれています。ヴィクトリア女王が英国王室のデザートに採用して以降、欠かせないものになりました。

・ビュッシュ・ド・ノエル

フランス語のノエルは「クリスマス」、ビュッシュは「丸太、薪」の意味で、薪の形をイメージしたケーキです。イエス・キリストの誕生を祝い、幼子を温めるため夜通し燃やした薪に由来するともいわれています。